

2018.1.19 SGH管理機関等連絡会 成果普及の事例2

東北地区

SGH課題研究発表フォーラムin杜の都

～成果発表の場の設定 と SGHコミュニティの形成～

学校法人 白百合学園

仙台白百合学園中学・高等学校

SGH運営委員会 鉢呂 智子

東北地区 SGH課題研究発表フォーラムの目的

東北地区のSGH指定校及びSGHアソシエイト校において取り組んでいる課題研究等を発表し、大学教員のアドバイスを受けながら、研究の深化・意欲・スキル等をアップさせつつ、生徒間の交流を深める。

主催：仙台白百合女子大学

共催：東北大学

宮城大学（第2回より予定）

後援：青森県教育委員会 岩手県教育委員会

秋田県教育委員会 山形県教育委員会

福島県教育委員会

宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

第1回 東北地区

SGH 課題研究発表フォーラム in 杜の都



2017. **3.18** (Sat)

会 場 : 仙台白百合女子大学 1号館

プログラム : 開会式 (12:20~12:40 講堂)

プレゼンテーション発表(13:00~)

ポスター発表 (13:55~)

スーパーグローバルハイスクール指定校・アソシエイト校の生徒が、
グローバルな社会問題やビジネス問題をテーマに
課題解決型探究活動の成果を発表します。

高校生の学びの場として、また高校の教育を知る場として、ご利用ください。

中学生・高校生・保護者・学校関係者など、どなたでもお越し頂けます。(予約不要・参加無料)

※アクセスについては仙台白百合女子大学のホームページをご覧ください。

発表予定校

青森県立青森高等学校 岩手県立盛岡第一高等学校 盛岡中央高等学校 宮城県仙台二華高等学校
仙台白百合学園高等学校 宮城県気仙沼高等学校 秋田県立秋田南高等学校 山形県立山形東高等学校
九里学園高等学校 福島県立ふたば未来学園高等学校

主催：仙台白百合女子大学 共催：東北大学

後援：北海道教育委員会 青森県教育委員会 岩手県教育委員会

宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 秋田県教育委員会

山形県教育委員会 福島県教育委員会

問い合わせ：仙台白百合学園高等学校

TEL:022-777-5777

Email:t-hachiro@shirayuri.izumi.sendai.jp

第1回SGH課題研究発表フォーラム概要

日時:2017年3月18日(土)

会場:仙台白百合女子大学

- ・開会式(12:20~12:40)
- ・プレゼンテーション発表(13:00~)
- ・ポスター発表(13:55~)

17:25終了後、バス移動
東北自治総合研修センターへ(宿泊)
夕食後、模擬国連(交流会)準備
入浴後、就寝

日時:2017年3月19日(日)

会場:東北自治総合研修センター

- ・模擬国連(交流会)(9:00~12:30)

昼食後、閉会式 解散

◆参加校 9校 （チーム・個人 どちらでも可能）

◆発表形態：口頭発表（日本語/英語）15分質疑応答&講評5分～10分
ポスター発表 10分質疑応答5分（2回）

学校名(採択年度)	プレゼンテーション		ポスター 発表
	日本語	英語	
青森県立青森高等学校(H26)	1	1	3
岩手県立盛岡第一高等学校(H27)	2	0	0
盛岡中央高等学校（アソシエイト）	1	1	0
宮城県仙台二華高等学校(H26)	3	4	3
仙台白百合学園高等学校(H27)	3	3	1
宮城県気仙沼高等学校(H28)	2	0	3
秋田県立秋田南高等学校(H27)	1	1	3
山形県立山形東高等学校(アソシエイト)	2	0	1
九里学園高等学校(アソシエイト)	1	0	2
計（発表数）	16	10	16
	生徒参加人数130名		



1. 発表の場設定の動き

- ・仙台白百合学園高等学校は・・・
平成27年度指定の高1からSGH活動開始
- ・構想調書:3年生の5月頃『女性フォーラム』
- ・連絡協議会の報告会では・・・
『発表の場が必要です』
『探究テーマに直結するコンテストは、
そうそうないし・・・やらせっぱなしでも・・・』
『やはり大学が設定して欲しい』



2. 発表の場設定へ

- ・併設大学を持っているのは...

白百合さんだけ！

- ・担当者が連携に動き出す

1. 高大連携＝リエゾンオフィス会議で交渉

2. 併設大学＋ α ← 東北大学の理事へ交渉

← 宮城大学の理事へ交渉

3. 実施の形態を細かく設定

4. 他の発表会場で実施形態を研鑽

◆実行委員会メンバー

委員長 : 仙台白百合学園高等学校 校長
副委員長 : 宮城県仙台二華高等学校 校長
実行委員 : 仙台白百合女子大学事務局長
白百合、二華のSGH担当教員



3. 実行委員会立ち上げ後、実施までの流れ

- ・10月、11月：2週に1回大学で打ち合わせ
- ・10月、11月、12月：各高校に随時連絡
- ・12月の連絡協議会・・・フォーラムのイメージや
流れなどを各校に伝達
- ・12月～2月：各校の発表概要入稿→大学へ
当日のバスの運行/宿泊数/入金
講評講師との連携/パンフ作成
- ・3月：本校の中間報告会で模擬講評実施



4. 仙台白百合女子大学での打ち合わせ

- ・国際化を進める大学としての役割・・・

- ①課題研究における語学に関するサポート

- ②海外フィールドワーク等の企画立案アドバイス

- ③生徒の学習内容の適切な評価

- (課題研究の英語等による成果発表会等の開催)

- ④単位認定を含む高大連携プログラムの提供

- ・高大で互いの教育的資源を有効活用できる環境
(学長、学部長、学科長、事務局長・・・大変協力的)



5. 東北大学・宮城大学との打ち合わせ

- ・SGH事業の説明
- ・発表の場の設定(大学が関わること)の必要性
 - ◆SGH生と大学との強い絆が育まれます！
 - ◆『西は育んでいます、東はいいのですか？』
- ・高大連携の取組の具体化＝成果
- ・第一回・・・東北大学より共催のOK(11/1付)のみ
- ・第二回・・・両大学より講師派遣が実現
 - ◆講師料は無料で！



6. 実施の分担（高校）について

- ・1日目の発表担当校・・・仙台白百合学園高等学校
大学との連携/バス運行/宿泊施設やり取り
- ・2日目の交流担当校・・・宮城県仙台二華高等学校
模擬国連準備/指導教員/アシスタント学生準備
- ・参加各校・・・実施の現場で、それぞれ協力し合う
(2日目の模擬国連最中に担当者会議を実施し、
現状の問題点や今後の実施について話し合う)



6. 実施の分担(大学)について

- ・各教育委員会等への後援依頼
- ・パンフレットと看板等の作成
- ・場所及び設備(教室・WB)の準備・確保
- ・駐車場等の警備及び保健室を含めた安全確保
- ・当日の講評講師の確保
- ・GS学科の学生ボランティアの準備
(受付・案内・誘導・司会)
- ・当日の配布資料の準備
- ・発表データの事前収集→本番準備



7. 実施（発表）の形態について①

- ・講義室：100名対応、4教室設定
- ・日本語/英語プレゼン：発表15分
質疑応答&講評5～10分
- ・各発表に講評の先生：最低1名（最大2班担当）
- ・フロアー：全ポスター分のWB設置、2フロアー設定
- ・ポスター発表：発表10分、質疑応答5分
聴衆に付箋でアドバイスを得る
- ◆すべての発表に賞は設けない
- ◆講義室とフロアーはすぐそばの関係（動線重視）



7. 実施（発表）の形態について②

プレゼンテーションとポスター発表の両方を重ねない

時間帯Ⅰ	時間帯Ⅱ	4講義室 と 2フロアー
13:00～13:25		日本語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)
13:30～13:55		英 語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)
	13:55～14:10	ポスター№1～9(発表10分 質疑応答5分)
14:15～14:40		英 語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)
	14:40～14:55	ポスター№10～18(発表10分 質疑応答5分)
15:00～15:25		日本語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)
	15:25～15:40	ポスター№1～9(発表10分 質疑応答5分)
15:45～16:10		日本語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)
	16:10～16:25	ポスター№10～18(発表10分 質疑応答5分)
16:30～16:55		英 語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)
17:00～17:25		日本語(発表15分 質疑応答&講評5～10分)



↑発表の様子



↑講堂
開会式

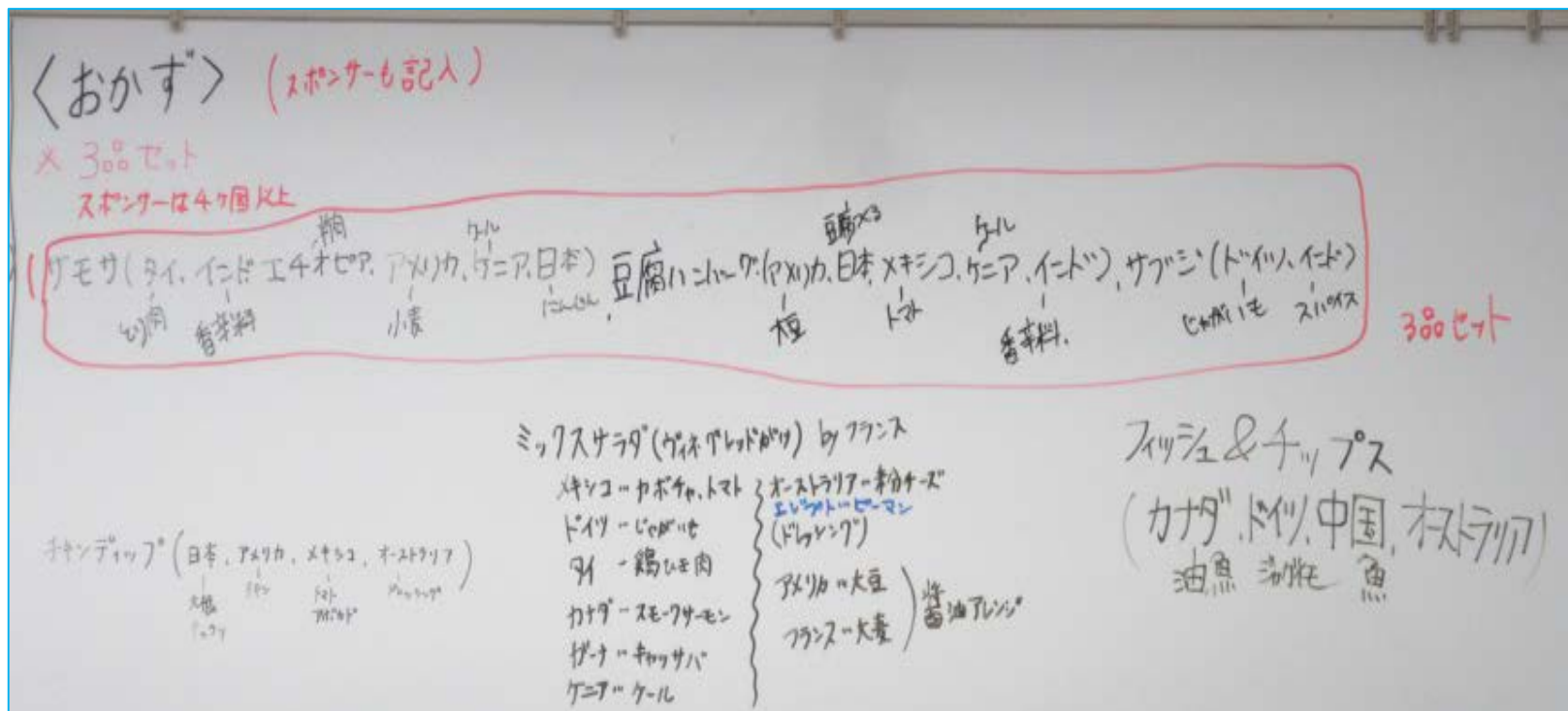
ポスターセッション
の様子→





8. 実施（交流会）の形態について

- ・模擬国連開催の事前準備あり
（割り当てられた担当国の大使として、議題に合わせた自国の情報収集と国連総会に臨む姿勢等）
- ・模擬国連議題『国連弁当』
- ・目標・・・合意形成の仕組みを知る
- ・会場：32名×3研修室
- ・他校生と2名1チームで言論戦を実施
- ・3/18(土)20時～22時：総会その1
- ・3/19(日) 9時～12時：総会その2、アンケート記入





9. 費用等について

- ・参加校⇔会場・・・交通費等は各学校に任せる
- ・地下鉄⇔女子大⇔東北自治総合研修センター
(本校バス:100円・200円・300円 領収書なし)
- ・東北自治総合研修センター
生徒、私学教員:1名1泊4,000円
公立学校教員 :1名1泊3,200円
(領収書あり)
- ・朝食450円、昼食600円、夕食750円(領収書なし)



10. 参加校の担当者会議

・3月19日(日)9:20～10:35 204室にて実施

①今回のフォーラムについて

②各校の取組の様子について

③各校の課題について

④今後について

◆SGH等の運営の困っていることを話し合う



先生方の声

- ・完璧な施設設備の中で、1つの班のために専門の方がいてくれて、こんな機会はなかなか無い。
- ・25分は長いと感じたが、やってみるとあっという間。
- ・発表して、専門の方から指摘やアドバイスを受け、新たな視点形成の場であるのでプライスはいらない。
- ・オープンスペースのポスターセッションは良かった。
- ・生徒のモチベーションに確実に繋がっている。
- ・模擬国連の進行も素晴らしい。
- ・交流会を経て、一つにまとまった感じですね。



最後に、仙台白百合学園高等学校は…

- ・平成27年度 文科省よりSGHに指定
- ・課題解決のできるグローバル人材の育成

本校が目指すリーダーは…

グローバル・サーバント・リーダー

グローバル化がもたらした光と陰に気付き、弱い立場にある人々に共感しながら、**奉仕の精神**をもって、人を支え、人を活かし、人をつなげる 人材のことです



教員自ら実践＝フォーラム形成は白百合の役割

第2回 東北地区 SGH課題研究発表フォーラム in杜の都

発表：3月20日（水）

場所：仙台白百合女子大学

交流会：3月21日（木）

場所：東北自治総合研修
センター

是非、ご参加ください。

以上



会場：仙台白百合女子大学 1号館

プログラム：開会式（12：20～12：40）

プレゼンテーション（13：00～）

ポスターセッション（13：55～）

主催：仙台白百合女子大学

共催：東北大学・宮城大学

後援：北海道教育委員会 青森県教育委員会
岩手県教育委員会 宮城県教育委員会
仙台市教育委員会 秋田県教育委員会
山形県教育委員会 福島県教育委員会